

## 関根川の水質環境調査 研修記（令和3年11月16日）

横須賀市環境政策部環境管理課

江頭 慶大

秋の好天に恵まれた午前中、本協議会会員 総勢 14 名の参加で関根川の水質調査を行いました。

### 『静寂な自然の中、童心に帰るひととき』

秋深まる 11 月中旬、関根川の水質環境調査に出発。関根川は横須賀市の湘南国際村から横須賀市の西方面にある秋谷を經由して相模湾に流れている。

水質保全協議会の関根川の調査は 3 年ぶり。関根川の親水施設として整備されているので、遊歩道を通って関根川へ降りていく。あっという間に、360° 自然に囲まれて、ここは横須賀なのかと驚いてしまう。市役所を出たときは秋晴れの暖かさを感じていたが、山の中はひんやりとしている。空を見上げると赤や黄色に色づいた葉っぱがゆらゆらと休みなく落ちてくる。川の流れる音以外何も聞こえない。



早速、関根川に足を踏み入れ、生き物の捕獲にチャレンジ。予想以上に長靴から冷たさが伝わってくる。水深も所々深くなっているのと、川底の石がヌルヌルしているため、用心しないとスッテンコロリンとなりそう。足元に用心しながら石の下で網をセ

ット。足でトントンして生き物をびっくりさせて網の中におびき寄せる作戦を敢行。早速小さなエビを捕獲。残念ながら、初心者の私は小さなエビと小さなヨシノボリしか捕獲できなかった。



《足元に注意して捕獲にチャレンジするが・・・》

### 『ザリガニやモクズガニに興奮！！』

ザリガニを捕獲した時は、色、形から日本ザリガニ？と期待しましたが、残念ながらアメリカザリガニと判明。背中についている線で萩原学芸員が直ぐに判別。日本ザリガニは北海道と東北地方北部にしか生息していないとのこと。モクズガニは甲羅が5cm強の大物を捕獲。茹でれば美味しいとのこと。食べるもするが、貴重な生き物を食べるわけにはいかない。調査後、そっと川に戻す。



《日本ではなくアメリカだったザリガニ君》



《今日の大物 モクズガニ》

萩原学芸員によると、原因は分からないが、3年前に比べるとアメンボやカゲロウなどのムシ類が少なくなったとのこと。また、ヨシノボリも幾分痩せているようだ。台風等自然災害の影響なのか、はたまた地球温暖化が影響しているのか。関根川の自然にふれあうことで、「生き物たちを守っていきたい。」との思いを強くする。



関根川の親水施設は、横須賀のゆたかな自然を感じたい方、貴重な川の生き物に出会いたい方、川の音で昼寝をしたい方にお薦めのスポットです。ぜひ、足を運んでみてください。



《 関根川の清流に心が洗われる 》